



筑紫女子国大学リポジト

日韓両言語における授受表現の対照研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 進藤, 真理, SHINDO, Mari メールアドレス: 所属:
URL	https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/505

日韓両言語における授受表現の対照研究

進 藤 眞 理

A Contrastive Study of “Giving” and “Receiving”
Expressions in Japanese and Korean

Mari SHINDO

1. はじめに

日本語と韓国語は文法構造に大変類似点が多い。ものや行為の「やりもらい」を表す授受表現においても、普通体と敬語体があること、補助動詞用法があることなど、他言語には見られない大きな共通点がある。しかし、詳しく見れば、話者の視点の有無、韓国語の補助動詞用法の一部欠如などの体系的相違点や意味特徴などの相違点も見られ、それらに加えて、日韓の対人関係の捉え方の違いが授受表現の用いられ方に微妙な影響を与えていた。

本稿では、特に、実際のコミュニケーション場面での授受表現の用いられ方に、両言語でどのような「ずれ」が見られるか、また、その「ずれ」はなぜ生じるのかについて、体系的、文法的な相違とともに文化的な背景との関連から考察を試みた。

2. 日韓授受表現の相違点

日本語の授受表現については、宮地（1965）、大江（1975）、久野（1978）などに、日韓の授受表現の対照研究としては、林（1980）や奥津（1983）などに詳細な記述があるので、参考文献として挙げておく。ここでは、両言語の体系や意味用法の相違点について簡単にまとめて述べる。

2.1 授受動詞の体系と授受本動詞の意味範囲

現代日本語では、「やりもらい」を表す基本的な動詞として「やる」「あげる⁽¹⁾」「くれる」「もらう」の四語とそれらの敬語体「さしあげる」「くださる」「いただく」の三語、合わせて七語の

授受動詞がある。韓国語は、「주다 (juda : やる・あげる・くれる)」「받다 (batta : もらう)」の二語、それに敬語体の「드리다 (deurida : さしあげる)」を合わせて三語が基本の授受動詞となる。それらに尊敬を表す接尾辞「시 (si)」をつけて、「주시다 (jusida : くださる・おやりになる)」「드리시다 (deurisida : おさしあげになる)」「받으시다 (badeusida : おもらいになる)」などの尊敬表現を作ることができるが、「もらう」の謙譲語「いただく」に該当する語は無い。

日本語は、授与動詞が、話し手の視点の関与により「やる・あげる」と「くれる」に区別されるのが大きな特徴であるが、韓国語は、ものや行為の移動に身内からよそへか、よそから身内へかという方向性が関与しないので、「주다」ひとつで表される。

日本語の七語の授受動詞は、動詞のテ形に接続して、その動詞が表す行為のやりもらいを表す補助動詞用法を持っている。韓国語では、「주다」だけが補助動詞用法を持っており、「받다 (もらう)」の補助動詞用法は無い。以上をまとめて表1に示す。

表1 日韓の授受動詞の体系

		授与動詞 ⁽²⁾		受納動詞 ⁽²⁾
日本語	普通体	やる・あげる	くれる	もらう
	敬語体	さしあげる	くださる	いただく
	補助動詞用法	有	有	有
韓国語	普通体	주다 (juda)		받다 (batta)
	敬語体	드리다 (deurida)	(주시다) (jusida)	—
	補助動詞用法	有		無

日本語の授受動詞は、本動詞の「事物の授受」から補助動詞の「事態の授受」への拡張とともに、補助動詞構文が一般に恩恵性（受益性）を表すようになると言われている。このことに関して益岡（2001）は、本動詞が「好ましいもの」を対象として取るということに、すでに恩恵性の萌芽があると述べている。金（昌）（2002）は、日本語の授受動詞が主に「好ましい」具象名詞を取るのに比べ、韓国語の授受動詞は具象物・抽象物⁽³⁾を問わず取ることができ、「好ましさ」においても中立的で、意味範囲が広いとしている。

金（瑞）（2005）は、日本語の授受動詞は受け手に「利益」「恩恵」になるものの授与を前提とし、韓国語の授受動詞は「利益」「恩恵」とは無関係な授受でも使用可能であり、むしろ日本語の「与える」「渡す」「受ける」に近いと言えると述べている。

筆者も、日韓の小説などの対訳資料から両言語の授受動詞が取る名詞を調査し、金（昌）（2002）と金（瑞）（2005）の主張を裏付けるに十分な結果を得た。表2は、韓国語の小説・ドラマから授受動詞주다・(건네주다)・받다を抜出し、その動詞の日本語訳と対象として取っている名詞の特徴を表したものである。

表2 日韓の授受動詞と類義動詞が取る名詞の特徴

韓国語	日本語訳	対象として取る名詞の特徴
주다 (juda)	やる・あげる・くれる	主に好ましい具象名詞
	与える	抽象名詞（好ましさは中立）
주다・(건네주다) (juda・geonnejuda)	渡す	具象名詞（好ましいものが多い）
받다 (batta)	もらう	主に好ましい具象名詞
	受ける・受け取る	具象名詞・抽象名詞（好ましさは中立）

2.2 授受補助動詞の意味用法

日本語と韓国語の授受補助動詞は、ともに「恩恵・非恩恵」の意味機能を持っているが、日本語の方がさらに派生の範囲を広げており、「会社なんて喜んでやめてやる」のような強い意志表現、「なんていうことをしてくれたんだろう」、「勝手に撮ってもらっちゃ困るんだよ」などの迷惑表現にまで及んでいる。さらに大きな相違としては、日本語では、「～てもらう」構文を使って、「～に代わりに書いてもらっていた」などの受け手側からの意志的な受納や「会ってもらいたい人がいます」などの聞き手への行為要求、また「次の作品を書いたら読ませてもらいたい」のように許可を求める形式での謙譲的表現が可能なことである。韓国語は、基本的に「好ましい・好ましくない・具象・抽象」名詞すべてをひっくるめた、「移動」の意味が強い本動詞の特徴が補助動詞に受け継がれており、日本語ほど強く「恩恵・非恩恵」方向へ傾斜していない。韓国語には「～てもらう」に対応する形式がないため、「～が代わりに書いてくれた」、「あなたは会わなければならぬ」、「次の作品を書いたら読んでみたい」のようにストレートな表現形式がとらわれている。表3では、森田（2002）による日本語補助動詞用法の意味分類に基づいて、韓国語の対応関係を比較した。

表3 日本語と韓国語の授受補助動詞用法の対応関係

日本語補助動詞	意味分類	韓国語の対応関係
「～てやる（あげる）」	利益恩恵・不利益の供与	○
	自棄自虐・強い意志	×
「～てくれる」	感謝・許可・許容・不利益の供与	○
	迷惑	×
「～てもらう」	利益の自主的授受・依頼・命令 迷惑・許可を求める	×

韓（2008）と朴（2009）では、両言語の補助動詞用法が、それぞれの本動詞の意味機能を受け継いでいるために異なる意味機能を持つ例として、「에게 ege 格（日本語のニ格に該当）」と共起可能な構文を例に説明している。

韓 (2008) は、韓国語の補助動詞用法では、「에게 ege 格 (ニ格) + 作成動詞・入手動詞⁽⁴⁾ + 주다 (やる・あげる)」構文において、日本語は「恩恵」のみを表すが、韓国語は에게格名詞句への対象物の移動を表し、「恩恵」は付隨的に生じるとしている。

- (1) a. 私はヨンヒに手袋を編んであげたが、まだ 渡していない。
b. *나는 영희에게 장갑을 짜 주었지만, 아직 전해주지 않았다. (* = 不適格な文)

私-は ヨンヒ-に 手袋-を 編んで 与える-たが、まだ (渡して) 与える-ない-た (韓2008)

(1) では、日本語は「移動」を表さず「恩恵」のみを表すので、後文で「渡していない」と言えるが、韓国語では、「짜 주었지만」で、すでに対象物がヨンヒに移動したことを表すので、後文で「전해주지 않았다 (渡していない)」とすることができず、不適格な文となる。

朴 (2009) によると、作成動詞・入手動詞の他、状態変化動詞、持ち主の受益表現⁽⁵⁾において、日本語も韓国語も「ニ格」「에게格」と共起可能な「~てやる・てあげる・てくれる」文、「-아/어 주다」文が成立するが、日本語では不自然になる (2)、(3) のような文でも、韓国語では、「洗濯した服」「明るい部屋」という生産物の移動として捉えることができ、「에게格」が表示できるという。朴 (2009) はこの理由を、韓国語の本動詞における移動の対象物の範囲の広さにつながるものであると主張している。

- (2) * ? 花子が僕に服を洗ってくれた。

花子가 僕에게 服을 빨아 주었다.
花子-が 僕-に 服-を 洗う-て 与える-た
→ 洗濯した服

- (3) * ? 花子が僕に電気をつけてくれた。

花子가 僕에게 전気을 켜 주었다.
花子-が 僕-に 電気-を つける-て 与える-た
→ 明るい部屋 (* = 不適格な文 ? = やや不自然な文)
(朴2009一部改変)

このように、韓国語では、「에게格」と「주다」が強く結びついて移動の意味を表し、「에게格」表示があれば、「주다」の省略は不可能となる。また、動詞句に明示的に移動の意味が含まれなければ「에게格」はとれない (井上2011)。

- (4) 夫が妻に指輪を {買った／買ってやった}。

남편이 아내에게 반지를 { *샀다 / 사 주었다} .
夫-が 妻-に 指輪-を {買う-た / 買う-て 与える-た} (* = 不適格な文)
(井上2011一部改変)

2.3 韓国ドラマのセリフに見る「-아/어 주다」の意味

韓国ドラマの中では、「見せる+주다」「話す(言う)+주다」文等に恩恵性の希薄なものが多く見られる。以下にその例文を挙げる。

(5) 原文: 그럼 오늘은 왜 보여 준 건데? (パリ)

直訳: それなら 今日は どうして 見せてくれたんだ?

字幕: それなら今日はどうして見せた?

(6) 原文: 이제 널 만났는데 어떻게 죽어가는 모습을 보여주니? (私の)

直訳: やっとお前に会えたのに、どうして死んでいく姿を見せてやろうか?

字幕: やっと出会えたあなたに死にゆく姿を見せられないわ

(7) 原文: 새 엄마 만나러 갔었어요. 다시는 안 보려고 했는데 꼭 해 줄 말이 있어서요.

어쩔 수 없이 만나러 갔던 거예요. (烏鵲橋)

直訳: 繼母に会いに行ってたの 二度と会わないつもりだったけど、どうしても言ってあげたいことがあって 仕方なく会いに行ったのよ

字幕: 繼母に会ったの 会わないつもりだった でも話があって仕方なく会ったの

(5) は、見たくない場所（自分の好きな女性の家に恋敵の甥が居候していた）を甥から見せられて、今まで秘密にしていたくせに、どうして今日は自分に見せるのかと問う場面である。(6) は、二十数年ぶりに会った娘にガンに侵された身で「母」と名乗り出ることをためらう女性の独り言である。(7) は、父が行方不明になった後、家を出ていった身勝手な継母だが、伝えなくてはならないことがあって会いに行ったと話す場面である。いずれも、ストーリーから見て「利益・恩恵」や「皮肉」などの「非利益・非恩恵」の意味は含んでいないが、「見せる」「話す（言う）」単独ではなく、補助動詞「-아/어 주다」を伴った表現となっている。日本語に直訳すると、補助動詞が「恩恵」の意味を持つため違和感があり、字幕では「～てやる・あげる」は用いられない。「주다」がなぜここで現れるのかについて、筆者は、先に述べた韓国語の「에게格」と「주다」の結びつきの強さに関係があると考えた。(5) (6) (7) には、「에게格」名詞句が明示されていないが、「見せる」「話す（言う）」には、その働きかけの移動する先の「에게格」名詞句が潜在しており、「주다」と結びつきやすいと考えられる。

韓国語は、「에게格」と共起できる「주다」文という条件下では、「恩恵性」の希薄な補助動詞文が現れやすく、「恩恵性」に傾斜している日本語の授受補助動詞用法とは、同様の形式であっても意味が異なる場合があることに注意すべきである。

3. コミュニケーション場面における日韓授受表現の「ずれ」について

今まで見てきたように、日韓の授受表現は多くの共通部分を持っているが、たとえ文法的に適格であっても、授受表現が使用される場で微妙なずれが生じることがある。それは、それぞれの国の文化的背景が言語行動に表出した結果であろうと思われる。

円滑なコミュニケーションを行うためには、相手を不快にさせないための配慮が必要である。このような配慮はどの国にも見られる普遍的なものであろうが、日本と韓国のように文化的、言語的に共通点の多い国の中でも、対人行動には多くの相違点が見られる。筆者は、授受表現の使

用においてもこのような対人行動に見られる意識の相違が影響していると考え、以下では、先行研究を参考に、それぞれの対人意識の特徴と配慮表現との関係について見ていくことにする。

3.1 日韓の対人意識の違い

日韓の対人行動に見られる意識にはどのような違いがあるだろうか。鈴木(1989)、川村(1991)、川口(1999)等は、「私的領域・恩恵表明・相手への配慮」と日本語の関係について述べている。生越(直)(2008)は「テリトリリー意識」について、尾崎(2008)は「依頼行動と感謝行動」について、洪(2007)は「ほめ行動」について日韓のアンケート調査を行っている。その他に任・井出(2004)、黒田(1986)、韓・梅田(2009)を参照して、「私的領域・対人距離・相手への負荷・敬語」に分けて日韓を比較したのが、表4である。

韓国人は日本人に比べ、家族や友達との距離が近く遠慮がない関係であり、相手が了解なしに自分の物を使ったり食べたりしても許容し、何かをしてもらっても謝辞を言わない傾向がある。「依頼」などで相手に負荷をかけるのも、日本人は家族以外には控える傾向があるのに対し、韓国人は家族・友達のような近い関係でも、知人程度の少し遠い関係でも区別なく「依頼」する。挨拶言葉も、慣用句ではあるが「命令形」で一步踏み込んだようなもの⁽⁶⁾が韓国には多く見られる。「ほめ行動」においても、日本人は「外見」について、私的領域に属する話題と受け止め、言及しない習慣があるが、韓国人は私的領域とは捉えず、日本人より積極的に「外見」について言及する。全体的に、日本人は相手と良い関係を維持するために常に距離を取りながら行動するのに対し、韓国人は積極的に相手の領域に踏み込むことで、親しい関係を作っていくという違いがあるようである。

また、韓国は日本よりも「上下の秩序」を重んじる社会であり、家族関係においても、特に祖父母、父親に対しては「親しさ・甘え」よりも「上下の秩序」が優先する傾向があり、親に対して「手紙出し」「本買い」など、使い走りのような依頼はしにくいと感じる若者がいるところが日本とは違う特徴である。敬語用法では、日本語の敬語が相手や場面への配慮として使われるのに対し、韓国語は年長者への礼儀として使われる絶対敬語であり、社会的地位、特に年齢を基準とした固定化した使われ方である。以上のような対人意識が授受表現の使用場面にどのように影

表4 日韓の対人意識の違い

	日本	韓国
私的領域	私的領域に抵触するのは丁寧さを欠く。 (特に目上に対して)	相手の領域に踏み込む。目上でも同様。 「外見」をほめる。「命令形」の挨拶。
対人距離	了解なしに相手の所有物を使うのには批判的。家族でも謝辞を言う。	了解なしに自分の物を使われても許容する。謝辞を言わない。(特に家族に対して)
相手への負荷 (依頼)	家族以外への依頼は控える。	家族・友達の他、遠い関係でも区別なく依頼する。
敬語	相手や場面への配慮として使う。	年長者への礼儀として使う。 年齢を基準とした絶対敬語。

響しているのか、3.2では、4つの項目について考察する。

3.2 対人行動に見られる意識と授受表現使用の関係

3.2.1 物の授受場面での「주다 (juda)」と「받다 (batta)」の使われ方

日本語の授受動詞は、「物や行為のやりもらい」において与え手が上、受け手が下の立場になるという待遇的意味が付随してくる。相手に対して直接「やる・あげる・さしあげる」を使用すると、話し手（与え手）が上位に位置することになり、相手（受け手）に不快感を与え、待遇的配慮を欠く。「もらう」でも、自分が受け手である場合は問題ないが、「私が送った荷物もらいましたか」と、相手を受け手として表現すると、相手を下位に置くことになり、やはり、待遇的配慮を欠く表現となる。このように、日本語では、授受の場面で「あげる」「もらう」という表現はあえて使われない傾向がある。

一方韓国語では授受の場面でも「주다 (やる・あげる)」「받다 (もらう)」が頻繁に使われている。まず「주다」の例を見てみよう。

(8) 原文：그리고 이거는 할미가 주는 용돈이다. (パダム)

直訳：それと、これはおばあちゃんがあげるお小遣いよ

字幕：それと、これは私からのお小遣いよ

(9) 原文：초롱아, 아빠가 초롱이 주려고 인형 사 왔다. (天使)

直訳：チョロン、パパがチョロンにあげようと人形を買って来た

字幕：パパがお人形買って来たよ

(10) 原文：무리言って悪いと思うけど、これが迷惑料。だから黙って私をここで降ろして。

翻訳：여지를 부려서 미안하지만, 여기 수고료 드릴게요. (1Q84)

日本語訳：無理言って悪いけど、これ、手数料さしあげます。

(8) (9)は韓国ドラマ、(10)は日本の小説から採取した例文である。(8)は祖母から孫へ、(9)は父から幼稚園児の子どもへ、(10)は乗客からタクシーの運転手へ金や物を渡す場面である。韓国語原文では「주다」が使われているが、日本語字幕や原文では「やる・あげる」は使われていない。日本語では、実際に渡す物が目の前にある場合、「これ、プレゼント」「これ、どうぞ」「これ、私から」などのように、渡す物を示す程度に止め、授受表現は使用されないのが普通である。渡す行為を言語化することによって恩着せがましさが生じることを避けるためであると考えられる。韓国語は、先に2.3で述べたように「移動」の意味において「주다」と「에게格」とのつながりが強いため、物の移動する先として「에게格」名詞句が明示されるか潜在している場合、「주다」が現れると考えられる。また、「주다」には、「やる・あげる」のような立場の上下関係という待遇的意味の含意がなく、むしろ相手に物を与えることは良いことと捉えられ、その行為を言語化することに何の問題も感じられないものと思われる。

次に「받다」の例を見てみよう。

(11) 原文：이거 받아요. (恋)

直訳：これ、受け取って

字幕：これを

반찬 좀 만들었어요. 直訳：おかずをちょっと作ったの 字幕：おかずなの

(12) 原文：받아~. 받아~. 받아~. (烏鵲橋)

直訳：受け取って (もらって)

字幕：飲んで

(13) 原文：그리고 이거 받으세요. (ガラス)

直訳：それと、これ、もらって (受け取って) ください

字幕：それと、これも受け取ってください

(11) (12) (13) は韓国ドラマから採取した。(11) は女性が、作ったおかずを好きな男性に渡す場面、(12)は外に立っている若い女性に知り合いの年配の女性が寒いからと温かい缶コーヒーを渡す場面、(13) は若い女性が、世話になった夫婦に、夫婦がだましとられた店の権利書を取り返してきて渡す場面である。韓国語では「받아~」「받아요」「받으세요」と物を渡しながらはっきりと言語化して相手に「もらう (受け取る)」ことを促している。しかし、「받다」を「もらう」と訳すと「받아~」「받아요」「받으세요」は、日本語では「もらえ・もらって」「もらってよ」「もらってください」となり、押しつけがましい感じがして使いにくい表現である。「受け取って」と訳すと少しばかりが良くなるが、それでも押しつけがましさは残る。「받다」は2.1で述べたように、日本語の「受ける・受け取る」に近い性質を持っており、「주다」と同様に立場の上下関係という待遇的意味を含意しないため、日本語のような押しつけがましさは生じない。

このように、授受場面で「주다」「받다」が積極的に使われているのは、「やる・あげる」「もらう」が対象物として主に「好ましい」具象物を取るのに対し、「주다」「받다」は具象・抽象を問わず、「好ましさ」においても中立的でむしろ「与える」「渡す」「受ける・受け取る」の性質に近く、授受場面において上下関係という待遇的意味を含意しないということと、3.1で述べたように、対人関係において積極的に相手との関係を作っていくスタイルを好む韓国語の特徴が影響しているものと考えられる。

3.2.2 「～てやる・あげる・さしあげる」と「-아/어 주다・드리다 (a/eo juda·deurida)」の意味・用法

日本語の「～てやる・あげる・さしあげる」は、しばしば、相手に恩着せがましさを感じさせるため、相手が恩着せがましさを感じても問題がないような関係・場面であるかどうかによって使用されたり回避されたりする。山本（2003）は、次の二通りの場合には使用可能だと述べている。

- a. A-Bが何らかの意味で「上下関係」にあると話し手が認識している場合
- b. AがBより上位にあることを「恩着せがましくなく」述べられるほど「親しい関係」にあると話し手が認識している場合

このように、親子、人間と動物、老人と青年のように絶対的な関係だけでなく、話し手が心理

的に上位と感じたときや、親しみを表したいと思った時に用いられると指摘している。ただし、話し手が状況判断を誤って、自分が上位に立ってはならない時や親しみを表してはならない時に用いると、相手に恩着せがましさを与えることになり、日本語ではやはり、「～てやる・てあげる・てさしあげる」は使用がむずかしい言葉である。

一方、韓国語では授受における立場の上下関係は問題にされず、特に、目上に対して「드리다(さしあげる)」がさかんに使われている。

(14) 原文：이 쪽으로 앉으세요. 제가 피해드릴까요. (いばら)

直訳：こちらにお座りください わたしが外してさしあげます

字幕：ここにどうぞ 私は外すわ

(15) 原文：병원 가서 한번 책해 보세요. 제가 같이 가드릴까요? (ガラス)

直訳：病院へ行って一度検査してみてください 私が一緒に行ってさしあげましょうか

字幕：病院で検査したら？ 一緒に行くわ

(14) は、夫と話しているところへやって来た夫の友人に対し、妻が席を外す場面、(15) は、孫娘が祖父を心配する場面である。日本語直訳では、恩着せがましさや皮肉な感じを与える表現だが、油谷(2006)は「連用形드리다」には、日本語の「～して差し上げる」が持つような押しつけがましさはないようだと述べている。金(瑞)(2005)も、「-아/어 드리다」は、本動詞の「드리다」がそのまま生かされた表現で、「目上の相手に対する尊敬と謙譲」の意味だけを表しており、「恩恵をほどこす」という含意ではなく、日本語の『お～する』と同様の意味なのである」と説明している。「やる・あげる・さしあげる」と「주다」の本動詞の意味・機能の違いが補助動詞にも影響していたように、「드리다」もまた、本動詞における「さしあげる」との原義のずれが補助動詞にも受け継がれている。日本語では、授受行為における立場の上下関係を言語化して表さないという語用論的な制約があり、「さしあげる」の使用例は少ないが、「드리다」は年長者への礼儀を表す敬語として尊敬や丁寧さを表したい場面で自然に使われており、本動詞用法、補助動詞用法ともに多くの使用例が見られる。

3.2.3 「依頼表現」と「勧誘表現」

依頼表現とは、話し手の利益のために何らかの行為を聞き手に要求することである。依頼文では授受表現が用いられることが多いが、日本語で依頼の場面として授受表現が用いられるときに、韓国語では勧誘表現が用いられることがある。

表5は、李(1990)が日韓の大学生にアンケート調査を実施した結果の一部である。(1) (2) (3) の状況で「何と言いますか」という問い合わせに対し、答えが多い順に3位までを表にした。

(1) と (3) は日韓ともに「依頼文」、「勧誘文」の答えが多い。しかし(2)では、日本側に依頼表現が多いのに対し、韓国側は勧誘表現が1位であり、2位以下にも依頼表現は見られない。生越(ま)(1995)はこれについて、日本語では目上・目下に關係なく、相手に迷惑がかかると判断すれば「依頼文」が使われ、韓国語では上下の意識が強く働いて(1)の先生には「依

頼文」、(2) の友達には対等な関係での共同作業と捉え「一緒に見よう」という「勧誘文」が使われていると解説している。

表5 李(1990)より作成

	韓国側回答例・日本語訳	日本側回答例
(1) 先生に推薦書を書いてもらいたいとき	써 주십시오. 書いてください	お願いします／致します
	부탁합니다/해요. お願いします	書いて頂けないでしょうか
	(推薦書가) 필요합니다. 推薦書が必要です	書いて頂けますか
(2) 教科書を忘れてきて 友達に見せてもらいたいとき	같이 보자/봄시다. 一緒に見よう／見ましょう	見せて(ね)
	같이 볼 수 있을까요. 一緒に見ることができますか	見せてくれる？／くれますか
	같이 볼래? 一緒に見る?	見せてもらえる?
(3) 友達と昼ご飯を一緒に食べに行きたいと思ったとき	같이 가자./먹으러 가자. 一緒に行こう／食べに行こう	行かない?
	갈래? 行く?	行こう(よ・ぜ)
	가지 않을래? 行かない?	一緒にどう?／どうですか

ところで仁田(1991)は、「依頼・命令・勧誘・希求・願望・意志」の表現は、「事態実現を望ましく思う心情」という共通事項によって連続しているものであり、場面の捉え方によって、交替して現れると説明している。日本語は、自分が受ける恩恵や相手にかける迷惑に意識が及び、「依頼」という丁寧な表現をとりやすく、韓国語は、相手や場面によっては恩恵や迷惑をそれほど意識せず、「勧誘・意志・願望・命令」などの表現をとりやすいと考えられる。先のアンケートの(2)の状況では、日本語は「見せて(ね)」のような依頼文として現れ、韓国語は「一緒に見よう」のような願望の意味を持つ勧誘文として現れている。韓国語の勧誘表現が次のような「命令・願望・意志」の意味・用法を持つ(生越(ま)1995)ことによって、そのような現象が現れるのである。

- ・命令「명동 갑시다 明洞に行きましょう」客がタクシーの運転手に向かって(明洞にやつて)
- ・願望「그 책 좀 구경합시다 その本ちょっと見ましょう」書店で客が店員に向かって(その本を見せてください)
- ・意志「내립시다 降りましょう」バスや地下鉄などで(降ります)

(韓国語例文は生越(ま)1995より一下線は筆者)

韓国語では、目下か同等程度の相手に対する軽い依頼であれば、話し手の意志・願望として授受表現ではなく勧誘表現が用いられることがある。(17)は寝たいのに寝かせてくれない妻に、(18)は自分にしきりに謝る夫の友人に対して使われている。これらは勧誘表現の中でも待遇度の低い「～자」が用いられることが多い。

(17) 原文: 잠 좀 자자~(天使)

直訳：ちょっと寝よう

字幕：寝かせてくれ

- (18) 原文：도대체 뭐가 그렇게 미안한 건지 나도 좀 알자고요 (欲望)

直訳：いったい何がそんなに申し訳ないのか私もちょっと知ろう

字幕：何が申し訳ないのか教えて

次は聞き手への行為要求に勧誘表現が使われている例を挙げる。(19) は見舞いの花をもらった入院中の母が娘に、(20) はスポーツ中継を見ていた下宿人の男性が大家に、(21) は育ての母が娘の実母に対して用いている。聞き手への行為要求には「～자」よりも待遇度の高い(20) の「～ㅂ시다」や(21) の「～시죠」のような勧誘表現も使われる。

- (19) 原文：해빈아, 이 꽃 좀 꽃자. (千回)

直訳：ヘビン、この花ちょっと生けよう

字幕：この花を生けてちょうだい

- (20) 原文：조용히 합시다 이거 중요한 경기라고. (私)

直訳：静かにしましょう これは大事な試合なんだ

字幕：静かにして 大事な試合だ

- (21) 原文：얘기 좀 하시죠. (きらきら)

直訳：ちょっと話をなさいましょう

字幕：話があつて來ました

(21) の場合、日本語では「ちょっとお話しですか」「お話させてもらえませんか」のように可能かどうかを問う表現や依頼表現をとったりするが、韓国語では、勧誘表現を取っている。実は「～시죠」は「命令」「勧誘」両方の働きを持っており、両者の区別はむずかしい。(生越(ま)1995) ここでは、勧誘の形を取っているが、初めて会う人に対する丁寧な命令(=依頼)の意味で使用されていると考えられる。

日本語で依頼表現が取られるような場面で、韓国人の日本語学習者が、韓国語の勧誘表現をそのまま日本語に訳して使うと、押しつけがましく丁寧さが足りない表現となり、コミュニケーションギャップが生じる原因となりやすい。

3.2.4 「～てもらう」表現の特徴

日本語では、「～いたします」と言うところを「～させていただきます」と言うような過剰な配慮表現が増えている。また、若者の間で「～てください」と言うところを「～てもらって(も)いいですか」のように、「てもいいですか」を使った表現が増えている。

2007年の文化審議会で『敬語の指針』が答申されている。その中で「～ていただきます」表現の適切度について述べ、「～ていただきます」表現は、次のア)イ)の条件がなければ、冗長な表現や不適切な表現となると説明している。

- ア)自分が行うことを相手または第三者の許可を受けて行い、
 イ)そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちがある場合

次の①～⑤はよく聞かれる表現だが、適切なのは①だけで、②～⑤は条件が整わなければ適切とは言えないようだ。①はア・イがあり、適切。②、③はアがなければ冗長な表現となる。④、⑤はア・イがなければ不適切な表現となる。

- ①コピーをとらせていただけますか。
 ②それでは、発表させていただきます。
 ③本日休業させていただきます。
 ④私は新郎と3年間同じクラスで勉強させていただいた者です。
 ⑤私は○○高校を卒業させていただきました。

(①～⑤は2007年文化審議会答申『敬語の指針』による)

「ここにお名前とご住所を書いてもらって（も）いいですか」のような「～てもらって（も）いいですか」表現について、北原他（2005）では、（1）依頼表現が使われるべきところに許可を求める表現が使われている。（2）許可を求める表現は、諾否についての選択の余地があり、そのどちらを選択するかを尋ねるものだが、その選択の余地がない人に使われており、「ノーと言わせない雰囲気」があり、押しつけがましさが感じられる、と説明している。また、それにもかかわらずこの表現が使われる原因は、「～てもらう」の持つ恩恵性にあるとし、相手の行為によって自分が恩恵を被ることを表し、ありがたいと思う気持ちを伝えており、さらに、許可を求める表現を使って依頼の押しつけがましさを避けようとしているからだと説明している。

このように日本語では、あたかも相手から許可や恩恵を受けてするかのような「～ていただきます」や「～てもらって（も）いいですか」を使うことによって、相手への配慮を表している。

以下に日本の小説から採取した「～てもらう」表現とその韓国語訳を示す。日本語の配慮表現に対し、韓国語は、目上に対して敬語は使っているものの、日本語のような配慮表現は使われていない。

表6 日本語の「～てもらう」文と韓国語訳文

日本語原文	韓国語訳をさらに日本語に直訳した文
ただそれを使わせてもらっているだけだ	ただ君の言葉を使っただけだ
次の作品を書いたら読ませてもらいたい	次の作品を書いたら読んでみたい
ひととおり調べさせていただきます	ちょっと調査をします／いたします
きれいに空っぽにさせていただきました	きれいに空けてくれとおっしゃったんです
一生懸命やらせていただきました。また寄らせてもらいます。	一生懸命やっています。またお寄りします。
家の中を見て回ってもらっていいかな？	家の中を回って見ることができるかな？

社会生活や人間関係が多様化してきている現代日本においては、配慮の表し方が模索される中で恩恵や上下関係を表す授受表現が敬意表現の一部を担うようになってきていると言える。一方、韓国語は、「～てもらう」に該当する謙譲表現を欠いており、敬意表現が、日本語に比べて固定的絶対的な使われ方の敬語用法に支えられて、個別の人間関係や場面における恩恵や上下関係などの要素に神経を使う必要性が低く、日本語のように授受表現が配慮とつながる背景は希薄だと考えられる。

3.2.5 まとめ

日韓の授受表現の使われ方の「ずれ」の原因については、次の4点にまとめることができる。

1. 日韓の授受表現の体系・文法の差
2. 日本語の授受表現の「恩恵」と韓国語の授受表現の「移動」という意味特徴の差
3. 「配慮」を重視する日本と「親しさ」を重視する韓国の対人意識の差
4. 年齢を基準に固定化された韓国語の絶対敬語と相手や場面に配慮した日本語の敬意表現に見られる社会的な人間関係の差

おわりに

以上、日韓の授受表現は、敬語と補助動詞用法という他の言語には見られない大きな共通点を持ちながらも、人ととの関係のあり方の相違によって、実際のコミュニケーション場面では微妙な「ずれ」になって現れるということを明らかにした。日韓の授受表現について、体系・意味特徴に加え、語用論的な対照を試みることにより、それぞれの言語の授受表現の特徴をより鮮明に浮かび上がらせることができたと考える。

謝辞

本稿は、筑紫女学園大学大学院人間科学研究科の修士論文をまとめたものである。指導教官である小野教授に感謝申し上げるとともに、本稿掲載の機会を与えてくださった人間文化研究所に謝意を表したい。

注

(1) 「あげる」は本来授受の相手に対する敬意を示す謙譲語であるが、近年、目下や動植物などの敬意が必要ない対象にまで用いられるようになってきている。「やる」はぞんざいな感じを与えるため、より上品な感じのする「あげる」が好んで用いられているようだが、「あげる」は美化語化して敬意が低下しているため、本稿では「あげる」を敬意のない語として扱っている。

- (2) 日高 (2007) にならって、「やる」「あげる」「さしあげる」「くれる」「くださる」など与え手側の動詞を「授与動詞」、「もらう」「いただく」など受け手側の動詞を「受納動詞」と呼ぶ。
- (3) 金 (昌) (2002) は、具象を「形や姿をそなえていて、感覚器官で知覚できること」、抽象を「物事・考えの要素・性質などを抜き出してとらえること、またとらえられたもの」として「具象名詞」「抽象名詞」と呼んでいる。
- (4) 「作る」「編む」など物の作成を表す動詞を作成動詞、「買う」など物の入手を表す動詞を入手動詞と呼ぶ。
- (5) 「ヲ格」目的語が「ニ格」で表される受益者の身体部位であったり所有物であったりするという特徴から、「弟に大事なカメラを壊された」のような構文は「持ち主の受け身」と呼ばれる。
- (6) 「수고하세요(苦労してください=ご苦労様)」「맛있게 드세요(おいしく召し上がってください)」「예쁘게 입으세요 (きれいに着てください)」「많이 파세요 (たくさん売ってください)」などがある。

参考文献

- ・李鳳姫 (1990) 「上級の日本語教育—韓国人学習者の場合」『日本語教育』 7号、日本語教育学会
- ・井上優 (2011) 「日本語・韓国語・中国語の『動詞+授受動詞』」『日本語学』 vol. 30-11、明治書院
- ・林八龍 (1980) 「日本語・韓国語の受給表現の対照研究」『日本語教育』 40号、日本語教育学会
- ・任栄哲・井出理咲子 (2004) 『箸とチョッカラク』 大修館書店
- ・大江三郎 (1975) 『日英語の比較研究—主觀性をめぐって』 南雲堂
- ・奥津敬一郎 (1983) 「授受表現の対照研究—日・韓・中・英の比較」『日本語学』 2-4、明治書院
- ・生越直樹 (2008) 「相手所有物を使う際の言葉の有無に関する研究」『対人行動の日韓対照研究 言語の基底にあるもの』 ひつじ書房
- ・生越まり子 (1995) 「依頼表現の対照研究—日韓対照研究一」『日本語学』 10、明治書院
- ・尾崎喜光 (2008) 「依頼行動と感謝行動の日韓比較」『対人行動の日韓対照研究 言語の基底にあるもの』 ひつじ書房
- ・川口義一 (1999) 「日本語の待遇表現」韓国『中央大学日本研究』 14
- ・川村よし子 (1991) 「日本人の言語行動の特性」『日本語学』 10-5、明治書院
- ・北原保雄編著 (2005) 『続弾! 問題な日本語』 大修館書店
- ・金昌男 (2002) 「日本語と韓国語の授受動詞がとりうる名詞について」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』 5
- ・金瑞賢 (2005) 「日・韓の授受動詞の用法—学習者の誤用に着目して」『比較社会文化研究』 第17号
- ・久野暉 (1978) 『談話の文法』 大修館書店
- ・黒田勝弘 (1986) 『韓国人の発想 コリアンパワーの表と裏』 徳間書店
- ・鈴木睦 (1989) 「聞き手の私的領域と丁寧表現」『日本語学』 8-2、明治書院

- ・仁田義雄（2010）『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
- ・朴用萬（2009）「日本語の「-てあげる・くれる」について—韓国語の「아/어 주다」との対象の観点から—」『日本學報』第79輯
- ・韓京娥（2008）「日本語の『～てあげる・くれる』と韓国語の「-아/어 주다—e/a cwuta」の意味機能」『日本語教育』136号、日本語教育学会
- ・韓美卿・梅田博之（2009）『韓国語の敬語入門』大修館書店
- ・洪珉杓（2007）「日韓両国人の言語行動の違い①…ほめ行動意識の日韓比較…」『日本語学』26-3
- ・益岡隆志（2001）「日本語における授受動詞と恩恵性」『月刊言語』第30巻5号、大修館書店
- ・宮地裕（1965）「『やる・くれる・もらう』を述語とする文の構造について」『国語学』63
- ・森田良行（2002）『日本語文法の発想』ひつじ書房
- ・山本裕子（2003）「『～テアゲル』の対人的な機能についての一考察」『世界の日本語教育』
- ・油谷幸利（2011）『間違いややすい韓国語表現100』P40-45、白帝社

用例出典

小説・ドラマのシナリオ：（作品名提示順　題名／著者）

『파리의 연인』／유호연（長谷川由紀子訳）、『美しき日々』／金井孝利翻訳、『1Q84』／村上春樹、『流星の絆』／東野圭吾、『淋しい狩人』／宮部みゆき、『パンとスープとねこ日和』／群よう子

韓国ドラマ：（作品名提示順（略号）題名（原題・邦題））

（パリ）「파리의 연인 パリの恋人」、（私）「내 인생의 단비 私の人生恵みの雨」、
 （烏鵲橋）「오작교의 형제들 烏鵲橋の兄弟たち」、（パダム）「빠담 빠담 パダムパダム」、
 （天使）「천사의 선택 天使の選択」、（恋）「내 사랑 내 곁에 恋せよシングルマザー」、
 （いばら）「가시꽃이ばらの花」、（ガラス）「유리 구두ガラスの靴」、
 （欲望）「욕망의 가면 欲望の仮面」、（千回）「천번의 입맞춤 千回のキス」、
 （きらきら）「반짝 반짝 빛나는 きらきら光る」

（しんどう　まり：2014年度大学院修了）